



TITLE:

教室通信・編集後記・おわびと訂
正ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

教室通信・編集後記・おわびと訂正ほか. Cue 2001, 7: 53-53

ISSUE DATE:

2001-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/57817>

RIGHT:

cue

京都大学電気関係教室技術情報誌

NO.7

JUNE 2001

[第7号]

.....
巻頭言

藤本一郎

.....
大学の研究・動向

複合システム論講座・レーダーリモートセンシング工学分野

.....
産業界の技術動向

NTTアドバンステクノロジー 松田晃一

新設研究室紹介

研究室紹介

平成12年度修士論文テーマ紹介

学生の声

教室通信

cue：きっかけ、合図、手掛かり、という意味
の他、研究の「究」（きわめる）を意味す
る。さらに KUEE（Kyoto University
Electrical Engineering）に通じる。

cue は京都大学電気教室百周年記念事業
の一環として発行されています。

教室通信

大学院工学研究科と情報学研究科が京都西方に位置する桂キャンパスへ移転することが決定され、電気系と化学系の大学院が先発隊としてキャンパス内のAクラスタに移ることになりました。平成12年4月から電気系二専攻では建物設計のワーキンググループ委員会が何回も開かれ、研究室の先生方の献身的なご努力により膨大な資料が作成されました。これにもとづき8月上旬には概算要求のためのヒアリングが行われ、各研究室とも第一段階の作業を無事終わりました。平成13年4月からは研究室が所有する設備の移転費を概算要求するための数多くの書類を提出することが必要となり、これまた大変苦勞の多い仕事は各研究室の先生方の手によってなされ、何とか期限に間に合わせることができました。平成13年1月から建設工事がはじまり、順調にいけば平成15年中に移転し、新しい環境で大学院教育と研究が始まります。今後は移転に向けて、移転スケジュールの作成や移転準備で各研究室とも移転一色になっていくものと思われます。皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

電気工学専攻 教授 奥村 浩士

おわびと訂正

cue第6号の「博士論文一覧」欄(40ページ)におきまして、編集上の不手際により論文題目を誤って掲載してしまいました。関係各位にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びしてここに訂正させていただきます。

誤:

and Annealing Processes in Ion Beam Interactions with Surfaces」

正:

「Nanoscale Observation and Analysis of Damage Formation and Annealing Processes in Ion Beam Interactions with Surfaces」

編集後記

お蔭様で「cue」も世紀を跨いで第7号となりました。まず、ご多忙の中、貴重な原稿を作成していただいた執筆者の方々に深く感謝いたします。ご存知の方も多いかと思いますが、「cue」は大学から社会への情報発信を目指して企画されました。「cue」を基にして産学連携の礎がたくさん構築されることを願っておりますので、今後とも皆様方のご指導の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。(T.K.記)

発 行 日：平成13年 6 月

編 集：電気電子広報委員会

石川 順三、奥村 浩士、小野寺秀俊、
萩原 朋道、川上 養一、木本 恒暢、
垣本 直人、尾上 孝雄

京都大学工学部電気系教室内

E-mail: cue@kuee.kyoto-u.ac.jp

発 行：電気電子広報委員会，
洛友会京都大学電気百周年
記念事業実行委員会

印刷・製本：株式会社 田中プリント